

大阪港・堺泉北港・阪南港港湾脱炭素化推進計画 新旧対照表

頁	項目	現行計画（旧）										変更計画（新）																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	表紙	令和6年3月										令和7年3月変更（令和6年3月策定）																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
新:24 旧:24	3-1. 表 6																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		

頁	項目	現行計画（旧）										変更計画（新）									
新:25 旧:25	3-1. 表 6																				
		区分	施設の名称	位置		規模	実施主体	実施 期間	事業 の効果	備考											
			（事業名）	港	地区																
短期	ターミナル内	船舶・車両 出入	メンテナンス棟 の照明 LED 化	大阪港	咲洲地区	900m2	日東物流株 式会社、川 崎汽船株式 会社	2023～ 2034 年度	C02 削減量： 4t/年												
			水素燃料電池船 の導入	大阪港	夢洲地区 在来地区	1 隻	岩谷産業株 式会社	2025 年度	—	2021～2024 年度 NEDO 実証事業											
			新造船の導入 （停泊中の C02 削減）	大阪港	咲洲地区	2 隻	株式会社商 船三井さん ふらわあ	2018 年度	C02 削減量： 1,238t/年	さんふらわあ さ つま・きりしま											
			CONPAS の導入	大阪港	夢洲地区	—	国土交通 省、 大阪港 湾局 、阪神 国際港湾株 式会社	2021 年度 ～	—	2021～2023 年度 国土交通省による 試験運用実施											
	ターミナル外	臨港道路の照明 LED 化	阪南港	一円	181 基	大阪港湾局	2013～ 2019 年度	C02 削減量： 142t/年													
本社社屋の照明 LED 化		大阪港	在来地区	730m2	近畿港運株 式会社	2015～ 2025 年度	C02 削減量： 5t/年														
中期	ターミナル内		回生機能付きガ ントリークレ ーンの導入	大阪港	夢洲地区 咲洲地区	18 基 （2023 年度ま でに 15 基導入 済み、 その うち 4 基 を 2024 年度以 降更新 予定）	阪神国際港 湾株式会社	2001～ 2029 年度	C02 削減量： 2,562t/年 （2023 年度ま でに 2,312t/ 年削減済み）	港湾法第 55 条の 7 第 1 項の規定に よる国の貸付け及 び課税標準の特例 措置（～2020 年 度）											
			臨港道路の照明 LED 化	大阪港 堺泉北港	一円	5,029 基	大阪港湾局	2014～ 2030 年度	C02 削減量： 2,268t/年												
	ターミナル外	社有車の電動化	堺泉北港	一円	1 台	堺泉北埠頭 株式会社	2022 年度	—	法人情報につき事 業の効果は非公表												
		社有車の電動化	大阪港 堺泉北港	咲洲地区 堺 5 区・ 6 区	—	関西電力株 式会社	～2030 年 度	—	法人情報につき規 模・事業の効果は 非公表 CEV 補助金（車 両）制度												
	長期	ターミナル内		上屋・ヤード内 の照明 LED 化	大阪港 堺泉北港 阪南港	一円	60 万 m2	大阪港湾局	～2050 年	C02 削減量： 1,693t/年											
上屋・ヤード内 の照明 LED 化				大阪港	咲洲地区	69 万 m2	阪神国際港 湾株式会社	2015～ 2050 年	C02 削減量： 681t/年												
ハイブリッド型 荷役機械（RTG） の導入				大阪港	夢洲地区	28 基 （2023 年度ま でに 4 基導入 済み）	夢洲コンテ ナターミナ ル株式会社	2021～ 2031 年度	C02 削減量： 1,805t/年 （2023 年度ま でに 258t/年 削減済み）	2022～2023 年度 二酸化炭素排出抑 制対策事業費等補 助金（うち 2 基）											
ハイブリッド型 荷役機械（RTG） の導入				大阪港	咲洲地区	4 基	日東物流株 式会社	2027～ 2034 年度	C02 削減量： 36t/年												
ターミナル 船舶・車両 出入		新造船の導入 （機能集約等 による脱炭素化）	大阪港	在来地区	7 隻	大阪港湾局	2021～ 2031 年度	—	現有船舶 11 隻を 新造船 7 隻に機能 集約。建造済の船 舶を含め、事業の 効果については、 燃料使用量の実績 等を踏まえ今後記 載予定												
		区分	施設の名称	位置		規模	実施主体	実施 期間	事業 の効果	備考											
			（事業名）	港	地区																
短期	ターミナル内	船舶・車両 出入	メンテナンス棟 の照明 LED 化	大阪港	咲洲地区	900m2	日東物流株 式会社、川 崎汽船株式 会社	2023～ 2034 年度	C02 削減量： 4t/年												
			ハイブリッド型 荷役機械（RTG） の導入	大阪港	咲洲地区	2 基	株式会社上 組	2017 年度	C02 削減量： 110t/年	一般財団法人環境 優良車普及機構に よる補助利用											
			水素燃料電池船 の導入	大阪港	夢洲地区 在来地区	1 隻	岩谷産業株 式会社	2025 年度	—	2021～2024 年度 NEDO 実証事業											
			新造船の導入 （停泊中の C02 削減）	大阪港	咲洲地区	2 隻	株式会社商 船三井さん ふらわあ	2018 年度	C02 削減量： 1,238t/年	さんふらわあ さ つま・きりしま											
	ターミナル外	CONPAS の導入	大阪港	夢洲地区	—	国土交通 省、 大阪港 湾局	2023 年度 ～	—	2021～2023 年度 試験運用												
臨港道路の照明 LED 化		阪南港	一円	181 基	大阪港湾局	2013～ 2019 年度	C02 削減量： 142t/年														
中期	ターミナル外		本社社屋の照明 LED 化	大阪港	在来地区	730m2	近畿港運株 式会社	2015～ 2025 年度	C02 削減量： 5t/年												
			倉庫の定温設備 改修	堺泉北港	助松地区	16,237 m2	株式会社上 組	2022 年度	C02 削減量： 57t/年												
	ターミナル内		回生機能付きガ ントリークレ ーンの導入	大阪港	夢洲地区 咲洲地区	18 基 （2023 年度ま でに 15 基導入 済み、 その うち 4 基 を 2024 年度以 降更新 予定）	阪神国際港 湾株式会社	2001～ 2029 年度	C02 削減量： 2,562t/年 （2023 年度ま でに 2,312t/ 年削減済み）	港湾法第 55 条の 7 第 1 項の規定に よる国の貸付け及 び課税標準の特例 措置（～2020 年 度）											
			荷役機械（RTG） の照明 LED 化	大阪港	咲洲地区	5 基 （各 16 灯）	日東物流株 式会社	2025～ 2028 年度	—												
	ターミナル外	臨港道路の照明 LED 化	大阪港 堺泉北港	一円	5,029 基	大阪港湾局	2014～ 2030 年度	C02 削減量： 2,268t/年													
社有車の電動化		堺泉北港	一円	1 台	堺泉北埠頭 株式会社	2022 年度	—	法人情報につき事 業の効果は非公表													
社有車の電動化		大阪港 堺泉北港	咲洲地区 堺 5 区・ 6 区	—	関西電力株 式会社	～2030 年 度	—	法人情報につき規 模・事業の効果は 非公表 CEV 補助金（車 両）制度													
倉庫内照明の LED 化		大阪港	在来地区	約 30,500m2	櫻島埠頭株 式会社	2019～ 2030 年度	C02 削減量： 195t/年														
長期	ターミナル 内	上屋・ヤード内 の照明 LED 化	大阪港 堺泉北港 阪南港	一円	60 万 m2	大阪港湾局	～2050 年	C02 削減量： 1,693t/年													
		上屋・ヤード内 の照明 LED 化	大阪港	咲洲地区	69 万 m2	阪神国際港 湾株式会社	2015～ 2050 年	C02 削減量： 681t/年													

頁	項目	現行計画（旧）										変更計画（新）									
新:26 旧:26	3-1. 表 6																				

頁	項目	現行計画（旧）										変更計画（新）																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
新:27, 28 旧:27	3-2. 表 8																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														

頁	項目	現行計画（旧）	変更計画（新）
新:30 旧:29	6-3.	大阪“みなと”においては、これまでも LNG バンカリングの拠点づくりをはじめ、港湾関連施設の照明の LED 化、大阪港におけるグリーンアウォードプログラムへの参加等の取組を進めており、令和 5 年には株式会社商船三井さんふらわあによる大阪港での LNG 燃料船「さんふらわあ くない」、「さんふらわあ むらさき」が就航されているほか、「2025 大阪・関西万博」において、岩谷産業株式会社による国内初となる水素燃料電池船の旅客運航が決定している。CNP の形成に向けた取組は、世界でサプライチェーン全体の脱炭素化に向けた取組が注目されている中において、港湾を利用する荷主や船会社、港湾で事業を営む港湾運送事業者や倉庫業者等をはじめ多岐にわたる関係者と一体となって取組を進めることが重要であることから、大阪“みなと”の姿勢を示すものであり、このことが港湾・産業立地競争力の向上にも繋がるものであるとの認識のもと、引き続き CNP の形成に積極的に取り組むものである。	大阪“みなと”においては、これまでも LNG バンカリングの拠点づくりをはじめ、港湾関連施設の照明の LED 化、大阪港におけるグリーンアウォードプログラムへの参加等の取組を進めており、令和 5 年には株式会社商船三井さんふらわあによる大阪港での LNG 燃料船「さんふらわあ くない」、「さんふらわあ むらさき」が就航されているほか、「2025 大阪・関西万博」において、岩谷産業株式会社による国内初となる水素燃料電池船の旅客運航が決定している。CNP の形成に向けた取組は、世界でサプライチェーン全体の脱炭素化に向けた取組が注目されている中において、港湾を利用する荷主や船会社、港湾で事業を営む港湾運送事業者や倉庫業者等をはじめ多岐にわたる関係者と一体となって 官民連携 で取組を進めることが重要であることから、大阪“みなと”の姿勢を示すものであり、このことが港湾・産業立地競争力の向上にも繋がるものであるとの認識のもと、引き続き CNP の形成に積極的に取り組むものである。
新:31 旧:30	6-3.	・大阪港湾局が本計画の対象範囲内において土地の売却を行う際には、事業者に対して温室効果ガス排出計画の作成・提出を求める等、脱炭素化の協力要請を行い、CNP を推進する。	・大阪港湾局が本計画の対象範囲内において土地の売却を行う際には、事業者に対して温室効果ガス排出計画の作成・提出を求める等、脱炭素化の協力要請を行い、CNP を推進する。 ・令和 5 年 10 月に、関西電力株式会社とコスモ石油株式会社が「 関西電力とコスモエネルギーホールディングスによる堺泉北エリアでの CCS バリューチェーン構築に向けた共同検討開始 」を公表し、また、令和 6 年 10 月には「 令和 6 年度『先進的 CCS 事業に係る設計作業等』に関する業務の受託 」を公表しており、堺泉北港エリアや周辺エリアに位置する火力発電所や工場等から排出される CO2 を回収・液化・貯蔵・輸送を行う拠点の形成に向け取り組んでいる。
新:31 旧:30	6-4.	また、大阪“みなと”における事業者の取組として、令和 5 年 8 月に、大阪ガス株式会社と E N E O S 株式会社が「大阪港湾部におけるグリーン水素を活用した国内初となる国産 e ーメタンの大規模製造に関する共同検討の開始」を、三井物産株式会社、三井化学株式会社、株式会社 I H I 及び関西電力株式会社が「大阪の臨海工業地帯を拠点とした水素・アンモニアサプライチェーン構築に向けた共同検討の開始」をそれぞれ公表している。こういった次世代エネルギーの供給拠点形成の推進に寄与するものとして期待される事業活動について、行政機関においても最大限の支援をしていく。	また、大阪“みなと”における事業者の取組として、令和 5 年 8 月に、大阪ガス株式会社と E N E O S 株式会社が「大阪港湾部におけるグリーン水素を活用した国内初となる国産 e ーメタンの大規模製造に関する共同検討の開始」を、三井物産株式会社、三井化学株式会社、株式会社 I H I 及び関西電力株式会社が「大阪の臨海工業地帯を拠点とした水素・アンモニアサプライチェーン構築に向けた共同検討の開始」を、令和 6 年 6 月に、三井物産株式会社、三井化学株式会社及び株式会社 I H I が「 大阪堺・泉北地域におけるアンモニア供給拠点整備の事業性調査事業 」の実施をそれぞれ公表している。こういった次世代エネルギーの供給拠点形成の推進に寄与するものとして期待される事業活動について、行政機関においても最大限の支援をしていく。

頁	項目	現行計画（旧）				変更計画（新）					
新:32 旧:31	6-5. 表 9-1	主な取組		～2025 年度 (短期目標年度)	～2030 年度 (中期目標年度)	～2050 年 (長期目標年)	主な取組		～2025 年度 (短期目標年度)	～2030 年度 (中期目標年度)	～2050 年 (長期目標年)
		KPI : CO2 排出量		-	4,314 千トン (2013 年度比 46%削減)	実質 0 トン	KPI : CO2 排出量		-	4,314 千トン (2013 年度比 46%削減)	実質 0 トン
		ターミナル内	上屋・メンテナンス棟・ヤード照明の LED 化	一部導入済	順次導入		ターミナル内	上屋・メンテナンス棟・ヤード照明の LED 化	一部導入済	順次導入	
			ヤード内荷役機械の省エネ化・ハイブリッド化	一部導入済	ガントリークレーン・ストラドルキャリアの省エネ化、ハイブリッド型荷役機械（RTG）の順次導入			ヤード内荷役機械の省エネ化・ハイブリッド化	一部導入済	ガントリークレーン・ストラドルキャリアの省エネ化、ハイブリッド型荷役機械（RTG）の順次導入	
LNG バンカリングステーション岸壁補修	補修		堺泉北港松之浜第1号岸壁		LNG バンカリングステーション岸壁補修	補修		堺泉北港松之浜第1号岸壁			
上屋等への太陽光発電設備設置	導入済		順次拡大		上屋等への太陽光発電設備設置	導入済		順次拡大			
再生可能エネルギー由来電力への切替	導入済				再生可能エネルギー由来電力への切替	導入済					
ターミナル出入船舶・車両	陸上電力供給設備（低圧）整備（直営船）		導入済			ターミナル出入船舶・車両		陸上電力供給設備（低圧）整備（直営船）	導入済		
	CONPAS の導入	試験運用	導入	※順次、他のコンテナターミナル導入			CONPAS の導入	試験運用	導入	※順次、他のコンテナターミナル導入	
	新造船の導入（直営船）	一部建造・導入済	機能集約により船舶数の削減等による脱炭素化 順次建造・導入		新造船の導入（直営船）		一部建造・導入済	機能集約により船舶数の削減等による脱炭素化 順次建造・導入			
	水素燃料電池船の導入	2025 年 水素燃料旅客船商用運航 建造	導入				水素燃料電池船の導入	2025 年 水素燃料旅客船商用運航 建造	導入		
	新造船の導入（停泊中の CO2 削減）	建造・導入済			新造船の導入（停泊中の CO2 削減）		建造・導入済				
	ターミナル外	社屋照明の LED 化	一部導入済	拡大			ターミナル外	社屋照明の LED 化	一部導入済	拡大	
臨港道路照明の LED 化		一部導入済	順次導入		美化柱等への導入	臨港道路照明の LED 化		一部導入済	順次導入		美化柱等への導入
社有車の電動化		一部導入済	EV・PHV・FCV 等順次導入		社有車の電動化	一部導入済		EV・PHV・FCV 等順次導入			
アンモニア燃料のナフサ分解炉実用化		技術開発・実証化		運用		アンモニア燃料のナフサ分解炉実用化		技術開発・実証化		運用	
都市ガスの脱炭素化（e-メタンの導入）		2030 年目標 e-メタン 1%混入 技術開発		2050 年目標 e-メタン 90%以上 供給		都市ガスの脱炭素化（e-メタンの導入）		2030 年目標 e-メタン 1%混入 技術開発		2050 年目標 e-メタン 90%以上 供給	
		製造設備構築（国産 e-メタンの大規模製造プロジェクト）		製造・供給				製造設備構築（国産 e-メタンの大規模製造プロジェクト）		製造・供給	
モーダルシフトの促進		促進				モーダルシフトの促進		促進			
廃食用油を原料とした国産 SAF 製造装置の建造・供給		製造装置完工	運転開始			廃食用油を原料とした国産 SAF 製造装置の建造・供給		製造装置完工	運転開始		
LNG バンカリング船の建造・就航		建造	2026 年度 就航			LNG バンカリング船の建造・就航		建造	2026 年度 就航		

頁	項目	現行計画（旧）	変更計画（新）					
新:33	6-5. 表 9-1		表下に追加					
			主な取組		～2025 年度 (短期目標年度)	～2030 年度 (中期目標年度)	～2050 年 (長期目標年)	
			KPI：CO2 排出量		－	4,314 千トン (2013 年度比 46%削減)	実質 0 トン	
			ターミナル外	倉庫の定温設備改修	導入済			
				倉庫内照明の LED 化	一部導入済	順次導入		
				発電所更新計画		更新	運転	
				CCS バリューチェーン（CCS 関連設備）の構築	CCS 関連設備の構築・推進		導入・拡大	
アンモニア供給拠点形成の検討	アンモニア供給拠点形成・推進			供給				